



第26回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和2年8月1日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 26 回 I C L S コース

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

I C L S とは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医(内、1名は2年次)であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター4名)計6名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策



1. BLSブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面



(2) BVM

(3) AED

4) その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

3) 備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計



4) その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。

3. モニターブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル

〈実施内容〉

開催日時	令和2年8月1日（土） 9：20～17：00
受講者数	12名
対象	初期研修医
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的室	
09:30～10:20	50分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:20～10:30	10分	休憩・移動		
10:30～11:20	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:20～11:30	10分	休憩・移動		
11:30～12:20	50分	気道管理/モニター	モニター シミュレーション室3	気道管理 シミュレーション室1
12:20～13:10	50分	昼食	多目的室	
13:10～13:15	5分	デモンストレーション	BLS・ALSデモンストレーション 多目的室	
13:15～14:25	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:25～14:35	10分	休憩・移動		
14:35～15:20	45分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:35	15分	休憩		
15:35～16:35	60分	メガコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:35～16:45	10分	移動		
16:45～17:00	15分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的室	

午前：気道管理

インストラクター：★高山・江川

午前：モニター

インストラクター：★長谷・田下・百木

午後

シミュ1

★高山・江川

シミュ3

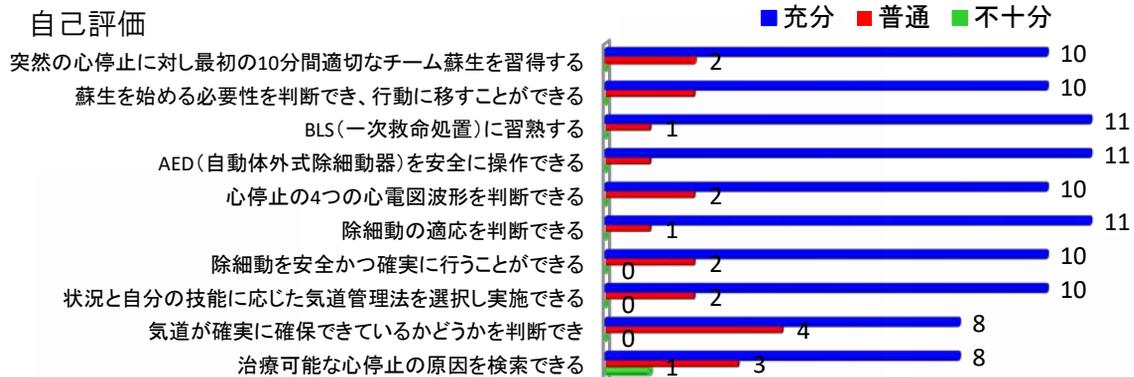
★長谷・田下・百木

★ブースリーダー



◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどう変わったと思いますか？

- ・ ハリーコールの際も、今なら何か出来ることがあるんじゃないかと思えます。
- ・ BLS,ALSの仕方と原因模索について自発的にこれから参加できそう
- ・ 多くの人と連携するために、所見を言ったり、自分の行動を声に出すことで、周りの人との疎通を取ることが大事になると感じた。ハリーコールの時には、可能なことから実践していきたい。
- ・ 自信となった。変化あったと思う。
- ・ アルゴリズムを前より考えずに実行できるようになった気がします
- ・ 除細動の使い方、病棟での緊急対応を復習できた
- ・ あれこれ考えず、考えるべき事を考えて、役割に応じてやるべき事をやれば良いということはわかった。
- ・ 前よりは自信を持てた。
- ・ シチュエーションをとっても多く行うことができ、症例の検討や実際の動きなどがよくわかった。
- ・ 少しは動けるようになったと思う。
- ・ VT,VFとPEA,心停止の対応の仕方がわかった。
- ・ 意識を失った人に対する適切な対応を現場でできるようになったと思う。

3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間



指導内容(量)



講習内容に対する時間設定



※ その他の意見として、実習がメインで良かったと云う意見があった。

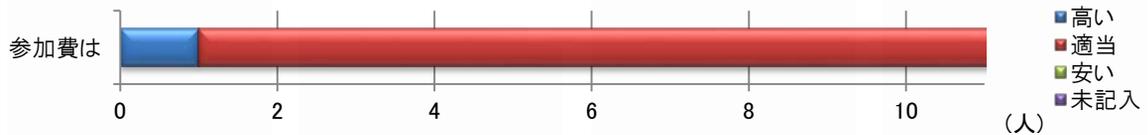
4)インストラクターに一言

- ・ 来週から市中病院で研修するので、良い準備になりました。
- ・ 休日にていねいなご指導ありがとうございました。
- ・ 1日熱心にご指導頂きありがとうございました。分かりやすく、楽しく学ぶことができました。
- ・ 分かりやすく、大変学びやすかった。
- ・ 様々なシチュエーションを体験できてよかったです。ありがとうございました。
- ・ お疲れ様です。
- ・ 長時間でしたが、優しい方々であり、経験豊富な方ばかりだったので楽しく終えることができました。準備や片付けなどもして頂きありがとうございました。
- ・ 勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。
- ・ できていない時にも、できたとポジティブに指導してくださってやる気が出ました！

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- 寒すぎず、暑すぎず快適でした。
- 快適だった。
- 悪くない。光るBLS人形に
- 感染対策バッチリでした！
- 特になし 2名

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 回数を重ねるごとにチームワークが取れるようになったのはいいが、実際の現場はその場に居合わせた人と偶発的に協力することになるわけだから、チームをシャッフルしてもよかった。
- お弁当がおいしかった

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

インストラクター希望者

- 佐藤 和也 ◦ 福田 大毅 ◦ 荒木 健志 3名



◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

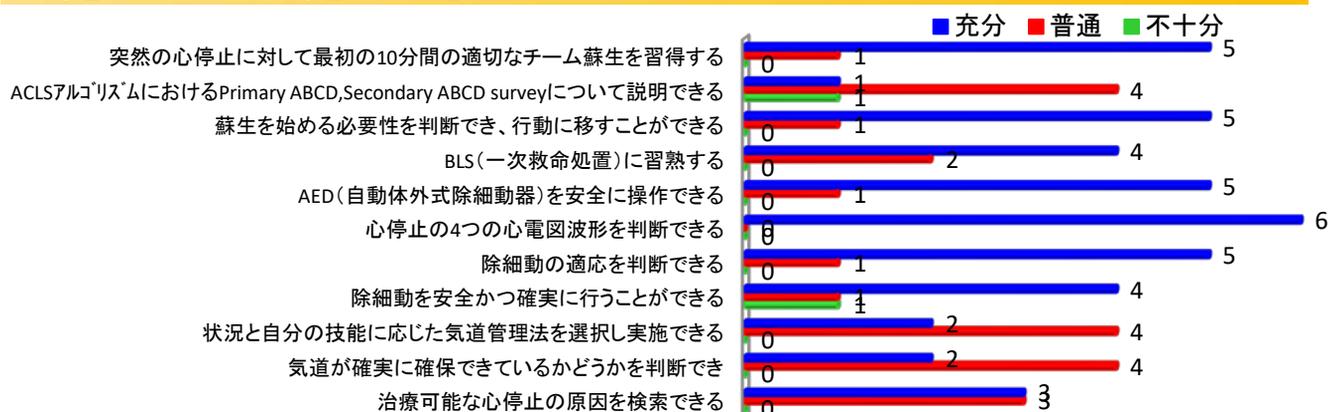
1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- とてもよかった。
- 真剣に取り組まれていたと感じました。
- 意欲的で良かったです
- 問題ありませんでした。
- 積極的だった
- 態度は問題なく、意欲も十分だと思います。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- 十分ではなかった
- 4月のオリエンテーションの際にBVM換気の実習ができなかったとのことでしたので、手技に不慣れな部分もあったと思います。
- 一部予習不足の研修医もいた。
- テキストは読んできていない印象でした
- 個人差があった 2名

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



【インストラクターについて】

4) 自身はどうでしたか？

- ・大きな問題はなかった。
- ・久し振りに参加させて頂いたので、やりながら思い出す事が多く勉強不足を痛感しました。
- ・時間管理ができてなかった。
- ・前回からの期間があいたので、もう少し復習が必要だと反省しています。
- ・まあまあ、かな
- ・久しぶりのインストラクターとしての参加だったので、少し抜けがありました。

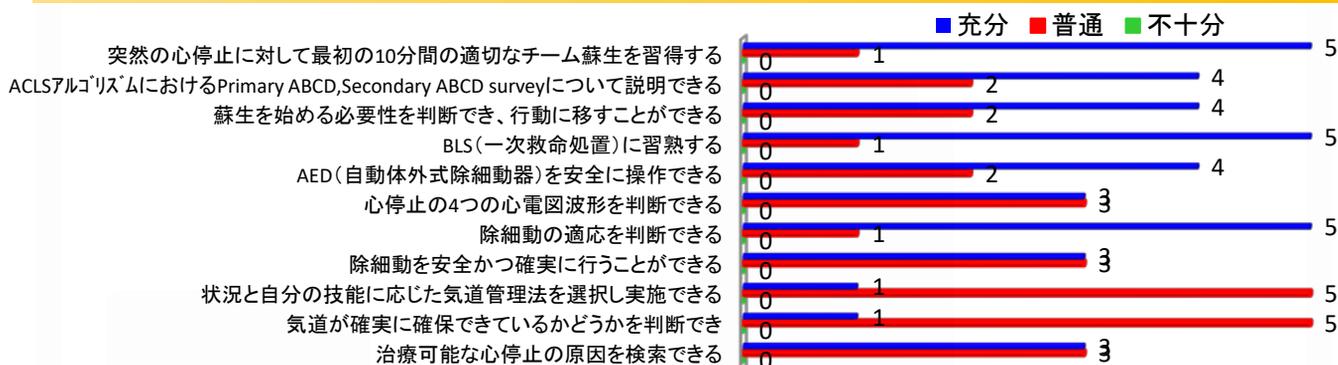
5) 同僚のインストラクターはどうでしたか？

- ・非常によかった
- ・今日もたくさんフォローして頂いて感謝です。
- ・適切なFBでした。
- ・大ベテランの方ばかりで、とても勉強になりました。
- ・熱心でとても良かった

6) アシスタント、チューターはどうでしたか？

- ・特に問題なし
- ・お世話になりっ放しでした。

7) 到達項目を十分教えることが出来ましたか？



8) 講習会全体について

1. 講習時間について 短い(消毒のため)1名、適当3名、長い1名
2. 指導内容(量)については、適当5名
3. その他意見
 - ・消毒の時間を考慮したら、全体の時間がやや足りないのかなと感じました
 - ・消毒の時間を意識して、休憩の時間を長めにする必要がありそうです

9) 運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？

- ・コロナ対応のため消毒作業があり少し手間になった。それ以外は問題なし
- ・スムーズでした
- ・事務の方が2名いらしたお陰でうまく運用できたと思います。ありがとうございます。
- ・良かったです
- ・徹底した感染防止対策で安心して講習できました。
- ・感染対策に気を付けて行った

2. 当日までの準備はどうでしたか？

- ・特に問題なし
- ・良かったです 2名
- ・消毒液やワイプの準備が大変だったかと思います。
- ・感染について準備していた

10) 今後のこの会についてひとこと

- ・今年は大変な年だけど、地道に継続していきましょう
- ・感染防御との兼ね合い
- ・コロナ禍の中、無事に開催できて良かったです。研修医の先生の生き生きとした表情が印象的でした。
- ・新様式の第一歩に立ち会えて良かったです。

フォトギャラリー



長崎大学病院 長崎外来医療教育室

地域医療支援センター ・ シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379